

整形外科学Ⅰ		講義	客員教授 可知 芳則	
科目カテゴリー	救急救命士コースの専門分野科目 柔道整復師コースの専門分野科目		科目ナンバリング	12321201

1. 授業のねらい・概要

整形外科で治療の対象となる疾患を念頭に置いて、運動器の構造・機能についての理解を深めると同時に教養としての整形外科学概論を修得する。

2. 授業の進め方

4月16日、4月30日、5月14日、5月28日、6月11日、6月25日、7月9日、7月23日に授業を行う。

3. 授業計画

1. 運動器の解剖 ①骨・関節	9. 運動器の正常と異常 ③形態
2. 運動器の解剖 ②筋・神経	10. 整形外科の診察
3. 体表解剖とその見方	11. 整形外科の検査
4. 運動器の働き 骨・筋	12. 整形外科の治療
5. 関節運動のメカニズム	13. 外傷総論 ①病態と診断
6. 機能解剖のまとめ	14. 外傷総論 ②治療法
7. 運動器の正常と異常 ①痛み	15. 総合演習
8. 運動器の正常と異常 ②動き	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

既に学んだ解剖学を適宜復習して授業に臨むのが望ましい。各回の復習をしっかりと行うこと。
準備ならびに復習に週3時間程度を見込む。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験施行後に履修獲得不十分な場合、個別レポートにより整形外科Ⅰの範囲について知識の固定化を図る。

6. 授業における学修の到達目標

救急救命士もしくは柔道整復師となるために必要な整形外科学の知識を十分に獲得していること。

7. 成績評価の方法・基準

多肢選択式/記述式のテストもしくはレポート（70%）と平常点（30%）を加味した総合評価を行う。
100点満点で60点以上を合格とする。

8. テキスト・参考文献

改訂第10版救急救命士標準テキスト
適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

授業には能動的に取り組み、討論や質問に際しては積極的に発言すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、病院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。